

リユースバッテリーユーザーレポート(2)

【会社名】

日本エアコミューター株式会社

南国交通株式会社

【用途】 鹿児島空港内 フォークリフト

鹿児島空港内離島便に雨天に利用するタラップがあり、フォークリフトで昇降を行っています。稼動に問題がある状況ではありませんでしたが、使用年数が間もなく五年になること、事前確認で比重高低差にバラツキが出始めていたこと、将来、大きなバッテリー交換コストがかかることを懸念し、再生作業を行うことになりました。

同フォークリフトは雨天のみの使用のため、利用頻度が少なく充放電を繰り返す環境にないこと、また、自然放電状態が長く、サルフェーションの付着が著しいため、再生作業を行った後、充放電を3日連続で行いました。その結果、当初1.22であった平均比重は、一ヶ月点検時1.27(いずれも満充電状態計測)へ改善。0.03あった高低差は0.01に改善されました。今後は各空港へ配備されている車両、また電源供給用のバッテリー車両への作業を提案予定です。



【会社名】

有限会社ホクト

【用途】 バッテリーフォークリフト

知覚でお茶の製造、販売をされているホクト様。工場内でご利用中のフォークリフトを再生致しました。弊社「リユースバッテリー」について作業までの経緯をお聞かせください」

お客様【知り合いの車ディーラでバッテリーの再生が可能であることを聞き、問い合わせをしたことがきっかけです。茶業のフォークリフトは閑散期では殆ど使用しないため、放電が進行し、バッテリーがダメになるのではと心配でした。】

弊社「再生後の状態はいかがですか」
お客様【これまで満充電してもインジケータが満充電に表示せず、正常な充電状態になっていませんでしたが、再生作業後の約一ヶ月点検では、インジケータの表示も正常になり、充電状態が回復していることを確認しました。】

弊社「再生作業の評価をお願いします」
お客様【弊社では一台しか所有していませんでしたので他の製茶工場を紹介しました。再生後も数回の点検をしてもらい満足しています。これからは補水管理と補水後の均等充電を徹底し、この状態を維持したいと思っています。】

お客様談【同社 代表取締役 村岡様】



■再生バッテリーと3R活動について(3Rリサイクル・リユース・リデュース)

バッテリーのリユース(再生バッテリーの選択)は、リユース(Reuse)とリデュース(Reduce)を同時に行うことになります。

■リユース(Reuse) いらなくなったものを、捨ててしまう”のではなく、洗浄したり修理して”もう一度使うこと”。

■リデュース(Reduce) いらなくなったものを、捨ててしまう”こと自体を見直すこと。物の量を”減らす”ことです。

■弊社はバッテリーのリユース&リデュースを通じて、企業のコスト削減と地球環境保全に貢献します。

エコテック・ジャパン

株式会社ウイズ鹿児島ケミカル事業部 TEL099-283-3488 FAX099-283-3477